



木もれびの森の薬用植物 (7)

コナラ (ブナ科)、ヤマザクラ (バラ科)

こもれびの森のありふれた樹木であるコナラ、クヌギ、ヤマザクラは、その樹皮が生薬として使われる薬用植物です。植物学の世界では、樹皮といえば樹皮図鑑に見られるように幹の表面の皮のことですが、生薬の分野では、「樹皮」とは樹木の表面の皮ではありません。表面の皮の下には周皮と呼ばれるコルク層の組織がありますが、生薬の樹皮は周皮の下から形成層までを指します。コルク形成層と維管束の形成層は細胞分裂が盛んな組織なので、脆弱で力を加えるとそこから剥がれ、この剥がれた部分を「樹皮」として使用します。

コナラやクヌギの樹皮を用いた生薬「ボクソク (樸 榿)」は、皮膚疾患に使用される漢方処方「十味敗毒湯 (じゅうみはいどくとう)」に使用されています。しかし、「ボクソク」のかわりにヤマザクラの樹皮「オウヒ (桜皮)」を用いているものもあります。これは、処方を決める上で根拠とした古典の文献に違いがあるためで、どちらが正しいと決められるものではありません。(川村)



コナラ



ヤマザクラ

木もれびの森の樹木

木もれびの森博物誌の第1号が発刊されたのは 2009 年(平成 21 年)4 月でした。それから 2014 年(平成 26 年)2 月の第 30 号まで約 5 年間にわたり木もれびの森博物誌の樹木欄を担当しました。その間取り上げた樹種は約 60 種になります。

平成 21 年に植生調査チームが活動地の散策路沿いの樹木 28 種類、58 枚の樹名板を取り付けました。そして博物誌第 2 号から取り付けた 28 種類の樹名板の樹木を第 13 号まで紹介しました。

第 14 号から木もれびの森の特徴ある樹木を取り上げました。幹回りが 5m 以上の 7 本立てのヤマザクラや 15 号では最も樹高の高いのは目測で 23m のエノキと判定し、その周辺にはムクノキ、ヤマザクラ、カツラ等が高さを競っています。

16 号、17 号、18 号及び 21 号では珍しい木としてケンポナシ、ミズメ(ヨグソミネバリ)、ユリノキ、ウリの木を紹介しました。

この 15 年の間には森はいろいろ変化しています。市道古淵麻溝台線の開通は大きな変化の一つですが、20 号に記したハリエンジュ(ニセアカシア)は西大沼地区に群生していて、一時は近くの土手に密蜂箱が置かれ養蜂が行われていましたが、今は数本



中央緑地の桜

に減っています。第 21 号で紹介しました、オニグルミとヤマグワの高木は伐採され、ヤマグワの切株だけが残っています。

最近、紀伊半島南部に 100 年ぶりの早咲きのサクラが発見され「クマノザクラ」と名付けられたとのニュースがありました。木もれびの森の中にもまだ珍しい樹木があるかもしれません。ぜひ調査したいものです。(林)

木もれびの森の恵みを皆様に

手入れされていない森の再生には、その森をどのような森に育てるかといった長期的な方針が重要であることは言うまでもありません。この森は 70~80 年生の広葉樹、や常緑高木樹の大木が密生する森で、市の計画に従い多くのボランティア団体が手入れを実施しています。

手入れされていなかった頃の木もれびの森はコナラ、クヌギ、イヌシデ、ウワミズザクラ、などの広葉樹やスギ、サワラなどの常緑高木樹の混交林であり、イヌモチやサザンカ、カシなどの低木常緑の樹木が密生し、木もれ日の射す明るい森とはほど遠い状況でした。

森を再生する管理には下刈り、間伐、萌芽更新や植樹などの作業があり、間伐で発生するサワラやスギ材はチェーンソーで製材して長椅子や丸太椅子に加工し、またコナラやクヌギは椎茸の槽（ほだ）木として、市のイベントなどで販売し、得たお金は、活動の資金となるなど、資源の有効活用が実施されています。

また、この活動で森が最適に管理されることにより、大きな効果として繁茂活動が旺盛になり、木々から発せられるフィトンチッド（森林の香り）の量が増加されます。

森の中を散歩すると晴ればれとした気持ちになり、実際に心身がリフレッシュされます。それはフィトンチッドの作用によるものです。フィトンチッドの作用は、抗菌、防虫、消臭などさまざまな働きもあり、このような森の働



きをうまく利用することで、私たち自然のつき合いを、健康的で、豊かなものにしてくれます。

フィトンチッドの効用には大きく分けて次の 3 つがあることが知られています。

- ① 自律神経の安定や肝機能を改善し快適な睡眠をもたらすこと。
- ② 空気を浄化したり悪臭を消す働きがあること。
- ③ 食品の防腐、殺菌をはじめ部屋、浴室などのカビを防ぐなど、抗菌作用や病原菌を殺す効果があること。

このような素晴らしい森の恵みを何時までも受けられることを願いつつ、相模原木もれびのボランティア活動などで、森の活性化が今後につけられていくことを、皆さんに知っていただきたいと思います。また、より多くの方々にこの活動に参加していただき、森への熱い思いを共有したいものと思っています。「木もれびの森」に出かけ、素晴らしい自然の恵みを全身で享受しましょう。(作業班 園田)